

## ～ご家庭で使わなくなったピジョンの哺乳器※1を資源リサイクルする実証実験～ アカチャンホンポ関東 10 店舗での回収ボックスの設置を 2023年2月28日まで延長

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：北澤 憲政）と株式会社赤ちゃん本舗（本社：大阪市中央区）は、プラスチックなどの資源の循環利用を目的とし、関東エリアのアカチャンホンポ 10 店舗において、ご家庭で使わなくなったピジョンの哺乳器の回収ボックスを設置し、資源リサイクルする実証実験を 2022 年 8 月 25 日（木）から開始しております。この度、2022 年 11 月 30 日（水）までとしていました回収ボックスの設置期間を 2023 年 2 月 28 日（火）まで延長いたします。

### 【実証実験の概要】

本実証実験では、当社の哺乳器において、赤ちゃん本舗とプラスチックのリサイクルのトータルプロデュースを主に行う株式会社パンテックと共働し、製品回収と資源リサイクルに取り組む実証実験を行います。お客様によってアカチャンホンポの対象店舗に持ち込まれた哺乳器は、当社が回収し、素材ごとに分別を行い、リサイクル工場への発送を行います。その後、リサイクル工場では、粉碎～再生原料化され、プラスチックはプランター、パレット、食品・薬品工場ラインの配管などに、ガラスは路盤材などを製造するための原料の一部に、生まれ変わります。また、回収した哺乳器の一部は、将来的に再生されたプラスチックやガラスをピジョン製品に活用することを目指した検証にも用います。

### 【ご家庭で使わなくなった哺乳器の回収概要】

- 回収対象製品：当社のプラスチック製哺乳びん・耐熱ガラス製哺乳びん、乳首、フード、キャップ（ピジョン製品以外は対象外です）。
- 回収ボックス設置期間：2022 年 8 月 25 日（木）～2023 年 2 月 28 日（火）
- 回収ボックス設置店舗：右記のアカチャンホンポ 10 店舗
- 回収ボックスに対象商品をお持ちいただいたお客様は、ボックスに設置された「シードペーパー®」※2をお持ち帰りいただけます。

アリオ葛西店	東京都
アリオ亀有店	
アリオ北砂店	
アリオ西新井店	
アルカキット錦糸町店	
ららぽーと豊洲店	
アリオ柏店	千葉県
テラスモール松戸店	
ららぽーと柏の葉店	
ららぽーとTOKYO-BAY店	

### 【回収ボックス設置後の実績と反響】

8 月 25 日～11 月 9 日までの期間中に、プラスチック製の哺乳びんは 370 本、ガラス製哺乳びん 345 本、乳首 810 個など合計で 2,747 パーツを回収いたしました。お客様からは下記のように多くの反響の声をいただいております。

・素敵な取り組みありがとうございます。下の子がそろそろ哺乳瓶卒業ですが、捨てるのももったいないと思ってましたが、この様な取り組みがあると助かります。

・す、すごい...こんなの、考え付かなかったです！思い出がどこかで引き継がれる仕組み、とても素敵です～。そしてシードペーパーも、子どもと一緒に植物の成長を見る機会を提供してくださるなんて、どこまでも素敵です。機会を見つけてぜひ利用したいです！

Instagram ピジョン公式アカウント・お客様からのコメント抜粋



ららぽーと柏の葉店に設置した回収ボックスの様子

※1 哺乳器：哺乳びん（容器）＋乳首＋フード・キャップで構成された 1 つの製品。

※2 シードペーパーは、さまざまな花の種を蒔きこんだ、古紙 100% のリサイクルペーパーです。ひと晩水につけて土に埋めると、数日で発芽します。花を育てると環境に対する思いも未来に引き継がれてほしいという願いが込められています。「シードペーパー」は SOUP Inc. の登録商標です。

## 【ご参考】

哺乳器におけるリサイクルの現状：

日本国内のシェアが85.6%を誇る当社の哺乳器<sup>※3</sup>、プラスチック製と耐熱ガラス製の2種類があります。プラスチック製の哺乳びんにおいては、プラスチックを細かく素材別に分別し、回収する仕組みがないこと、また耐熱ガラス製の哺乳びんは特殊なガラスのため、一般的に「資源ごみ」ではなく「不燃ごみ」として扱われることから、哺乳器においてはリサイクルが進んでいないのが現状でした。

※3 出典：インテージ、2021年5月～2022年4月の12カ月間の哺乳器売上金額シェア。